

地域の歴史を伝え、次の世代に語り継ぐ調布市郷土博物館は開館50周年

昭和30年代、日本は高度経済成長の下で生活が大きく変わろうとしていた。調布も従来の農村としての生活や風景が急速に失われていった。消えゆく農村の光景や農具・民具、伝統的行事を記録し残したいとの声がかみから上がり始めた。調布の歴史や文化に対する関心も高くなり、それを守り伝えたいという気運が市民の間に高まり、調布史談会(昭和39年)、調布市文化財保護条例(昭和40年施行)、調布市文化協会の設立(昭和41年)などを経て、昭和43年に市民から郷土博物館建設の陳情があり、当時の本多嘉一郎市長も賛同した。こうした市民運動の盛り上がりで、昭和49年11月24日に調布市郷土博物館は誕生した。今から50年前である。こうした歴史を背景として、今でも古民家や古い蔵から出た農具などが持ち込まれている。

郷土博物館(通称:郷博)は京王線の多摩川駅から歩いて約5分、住宅地の中にあり隣りは保育園である。1階ロビーには多摩郡上石原村(現在の市内野水)生まれの近藤勇の座像があり、2階が地域の歴史を展示する第1展示室と第2展示室(常設展示室)がある。常設展示室には市内の遺跡から出土した縄文時代の土器が陳列されている。下布田遺跡から出土の重要文化財の耳飾り(レプリカ)もある。

50周年記念企画を担当する事業管理係の芝崎由利子さん(学芸員)は「50周年記念の特別公開(11月19日～12月15日)として『近藤勇養子縁組状』と明治時代の『週刊多摩新聞』の本物を展示します。企画展として『農村のくらしと技術～糸をつむぎ 布を織る～』(12月1日まで)の展示解説をします」。記念イベントとして11月23日に天然理心流演武が博物館前庭である。ギャラリートークとして23日に宮川清蔵さん(近藤勇生家子孫)24日に画家・中川平一さんの講演がある「常設展示室は11月19日から新たにオープンします」と芝崎さん。新しくなった郷博をぜひ訪ねたい。(大泉清)

令和6年度調布っ子「夢」発表会を11月23日(土・祝)に開催

「わたしが考える未来の調布」というテーマで、今年度は第三小、深大寺小、緑ヶ丘小、染地小、調和小の各小学校から5年生10人が自由で夢のある意見を発表。昨年度の発表会記録集を見ると「笑顔と緑あふれる調布」「ゴミの少ない街のために」「音楽で調布をバリアフリーに」など調布っ子らしい意見が多く発表された。11月23日午後2時～午後3時20分(開場:午後1時30分)、文化会館たづくり12階大会議室。当日先着110人まで。

水木作品を題材とした「ゲゲゲのファンアート展」を「ゲゲゲ忌」と同時開催

「水木マンガの生まれた街 調布」を知ってもらい、幅広い世代に水木作品に興味を持ってもらうために、今年の「ゲゲゲ忌2024」と同時開催。11月22日～12月1日。場所は、文化会館たづくり南ギャラリー。

都内で初、トイレカーを導入。クラウドファンディング(CF)を実施

災害時のトイレ対策として来年1月に導入。購入費用の内で800万円をCFで調達。「10月中旬に満額集まり、今は1200万円にしました」(担当者)

日本歌曲協会の「第19回邦楽とともに」に本局の宮本苑生さんの詩が登場

10月21日に東京文化会館小ホールで開催され、第2部の最初に「魔法の練習」より、「どっちが好き? もくもく くもくも」の詩が佐藤容子(ソプラノ)・佐藤寛子(メゾソプラノ)姉妹により披露された。

【FC 東京応援記】

10月、東京は公式戦2試合で1勝1分。9月の好調を維持するハードワークと縦にバスを出し、走るカウンターサッカー。終盤にきて、やっと勝つ型になった。9月～10月は5戦負け無し。各チームの試合数が違うので暫定ですが7位。11月に3試合12月に1試合の今シーズンも残り4試合。次はホーム味スタで湘南戦だが、味スタで勝ったのいつ?と経過を見たら6月の札幌戦。原川のロングパスに安齋がダイレクトボレーを決めた試合。無敵の国立競技場もいいけど、やっぱり味スタで勝つ事こそが「東京が熱狂」の原点。次々節、町田。覚悟しとけよ!(日比生)

ちょビット

No.39



調布市協 インフォメーション

第47回調布市福祉まつりを12月7日(土)8日(日)に開催します。昨年、「さいかい(再開・再会)」することができた福祉まつりですが、今年のテーマは「あいはここから めくもり」です。福祉まつりから皆さんに「めくもり」を届けることができるよう、大人から子どもまで楽しめる様々な企画を用意しています。ぜひご来場ください。詳しくはホームページから→



2024年11月 番組表



＜調布市民放送局の番組を見ることができます＞



◆ 姉妹都市木島平村のケーブルテレビ「ふう太ネット」で放送中！

調布 C A T C H J:COM 111chにて1日2回放送

テレビ番組

月	火	水	木	金	土	日
8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25
1日	<p>① 鳥の羽根の不思議を探ろう 鳥の羽根について学ぶイベントが 多摩川自然情報館で開かれました。生憎の小雨でしたが、鳥の羽根を探しに出かけ多くの鳥を観察しました。鳥の羽根の構造や役割などを学んだ後、鳥の羽根を使った「しおり作り」にも挑戦しました。終了時間を過ぎて、参加者は熱心に質問していました。</p> 					
15日	<p>② リトルギャラリー:ゾクゾク惹かれる かわいくて怪奇な“あみぐるみの世界” 作家 オカルタム のちょっと不思議でゾクゾクする“あみぐるみ”の世界に皆様をご招待します。ゾンビメイドやカエル、イモリなどユニークなキモかわいいあみぐるみの作品の数々をお楽しみください。</p>					
16日	<p>① 第64回調布市民スポーツ大会 ～柔道～ 10月6日、武蔵野の森総合スポーツプラザで柔道競技が行われ、小学生から一般の有段者まで男女合計およそ320名が参加。個人戦は学年別に行われ、勝った選手が残り6人まで戦う2分間の勝ち抜き戦。子どもたちは小さな体に道着もりりしく、元気に相手に立ち向かっていきます。</p> 					
30日	<p>② ロボット競技会「CHOFU CUP 2024」(10月6日) 北ノ台小学校で開催されたロボット競技会の模様をご覧ください。会場には各チーム工夫を凝らしたロボットが勢揃い。競技は世界大会同様、英語で司会進行され熱戦が繰り広げられました。</p>					

ラジオ

月	放送日	内容	ご紹介
<p>「調布わくわくステーション」(毎週月曜日、21時45分～22時00分) 調布 FM:83.8MHz HPからは、インタビューの様子を映像でご覧いただけます。どうぞお楽しみに！</p>			
11月	4日(放送) 11日(放送)	ゲスト:三輪 浩さん (調布市民オペラ振興会)	9月に公演が行われた調布市民オペラ振興会の第27回公演の実行委員長 三輪 浩さんにお話を伺いました。 インタビュアー:柴田紀恵子
	18日(放送) 25日(放送)	ゲスト:小笠原 響さん (調布市せんがわ劇場芸術監督)	今年の4月1日に調布市せんがわ劇場の芸術監督に就任された演出家 小笠原 響さんにせんがわ劇場のお話や、演出公演「ドクターズジレンマ」についてお聞きしました。 インタビュアー:真山勇一

HP

インターネットで、いつでもすべての番組を見ること・聴くことができます。👉調布市民放送局で検索

<http://chofu-catch.or.jp/> (公式HP)

(すべての番組2015年～現在まで)

<http://chofu-catch.sakura.ne.jp/> (アーカイブサイト)

(すべての番組2004年4月～2015年3月)

<https://www.facebook.com/chofubroadcast> (フェイスブック支局) (2015年～)



【公式HP】



【アーカイブサイト】



【フェイスブック支局】



不審な電話には「出ない」

「話さない」「信じない」

あなたのお金が狙われている。特殊詐欺は1本の電話から。電話で家族構成や預貯金などの個人情報教えない。調布警察署(電話042-488-0110)では「不審な電話には『出ない』『話さない』『信じない』の3原則が重要。おかしい電話はすぐに警察にご連絡ください」と注意喚起している。

秋の火災予防運動が始まる。

11月9日(土)～15日(金)まで

令和6年度の秋季全国火災予防運動が始まる。調布消防署(電話042-486-0119)では「昨年より火災件数が増えており、特にモバイルバッテリーなどからの出火が目立ちます。取り扱いには気を付けて下さい。また、住宅用の消火器を備えて置くと、いざという時に安心です」と呼び掛け。



＜ご意見・ご感想をお待ちしています＞ 同合わせ先 <http://chofu-catch.or.jp/contact> ☎ 090-5576-1429

郵便 〒182-0022 調布市国領町 2-5-15、調布市民プラザあくろす 2階 市民活動支援センター-気付

【編集・発行】NPO 法人調布市民放送局 (事務所) 〒182-0035 調布市上石原 1-48-14